

(二七八九)

三六 寛政元年六月 京都・江戸の定飛脚問屋ら糸絹荷物ほか

請負証文〔B〕

御請負申上置証文之事

一 京都・江戸・大坂并諸国江被_レ遣候糸・絹御荷物、「金銀、其外
 何品不_レ寄、御請負申上候所実正也、」万_一於_二道中_一紛失・相
 違之儀出来仕候共、私方江引請、金銀者不_レ及_レ申、何様之荷
 物等ニ而も早速相弁、貴殿方江少茂御損・御苦勞相掛申間鋪
 候、「請取印形之儀者、印鑑御引合御渡可_レ被_レ下候、則通帳」
 其度々請取印形仕候、尤此証文ヲ以、何ヶ年も御請負申上候、
 為_二後日_一之証文仍而如_レ件

京都烏丸通姉小路上ル町

近江屋 喜平次印

江戸室町式丁目

京 屋 弥兵衛印

寛政元己酉六月

京都組中惣代

詰番 越後屋七郎右衛門印

上州藤岡笛木町

近江屋 喜平次印